

【1：地域包括ケアとエリアマネジメント】

<概要>

少子超高齢化に伴う人口減少・税収減少による予算制約の中で、社会保障費の費用抑制が必要となってきます。もちろん、高齢者が人生の終わりの時まで住み慣れた地域で安心して暮らせる長寿健康社会を実現することが基本として必要であり、画一的な医療費抑制策ではなく、地域毎の実態にあったきめ細やかなケアシステムの確立が求められています。

その検討にあたっては、「個人の健康状態」をベースとした医療・保健・介護だけでなく、「住まいと住まい方」の側面から既存施設の有効活用や地域全体としてのエリアマネジメント、さらには、それらの前提となる経済・社会・財政・労働環境など、様々な視点から切り込む事が、実際の課題解決を考える際には重要となります。

金沢大学では、平成27年9月に地域の健康づくりを、地域看護や公衆衛生、都市計画、統計、地域経済、など、様々な専門分野から考える「地域包括ケアとエリアマネジメント研究会」を学内有志で立ち上げました。

この研究会では、医療費・介護費、介護ニーズの分布、高齢者の生活実態、医療・介護サービスの供給等に関する国民健康保険データベース・後期高齢者データベースなどを分析して、ケアシステムの地域特性を抽出し、多主体・多職種な地域包括ケア、および、高齢者の長寿健康促進のためのエリアマネジメント方針(施設立地、交通まちづくり施策)の策定に反映させる政策デザインを提案するとともに、地域特性に応じた福祉・都市計画が介護費を抑制する効果について検証することを目的として、いくつかのグループ・フィールドに分かれて展開・活動・連携しています。

<活動体制>

(学内)

- 佐無田光 (人間社会研究域経済学経営学系・教授) (地域経済)
- 寒河江雅彦 (人間社会研究域経済学経営学系・教授) (統計)
- 武田公子 (人間社会研究域経済学経営学系・教授) (地方財政論)
- 西村茂 (人間社会研究域法学系・教授) (行政)
- 高山純一 (理工研究域環境デザイン学系・教授) (都市計画・交通計画)
- 西野辰哉 (理工研究域環境デザイン学系・准教授) (建築計画)
- 藤生慎 (理工研究域環境デザイン学系・助教) (観光交通計画・都市防災計画)
- 柳原清子 (医薬保健研究域保健学系・准教授) (看護・家族看護)
- 辻口博聖 (医薬保健研究域医学系・特任助教) (公衆衛生)
- 篠原もえ子 (医薬保健研究域医学系・助教) (神経内科・認知症)
- 岡本成史 (医薬保健研究域保健学系・教授) (歯科・臨床微生物)
- 真田茂 (医薬保健研究域保健学系・教授)

(連携自治体)

小松市、羽咋市、七尾市、志賀町、白山市、加賀市、金沢市、珠洲市

<活動中の個別事業>

- ・ 家族構成・状況と要介護状態
- ・ 要介護者の状態と介護離職
- ・ 口腔環境と全身疾患・要介護度の関係
- ・ 健康状態の見える化（都市インフラと健康）
- ・ 通院ガン患者の医療機関アクセスの現状と課題
- ・ ICT機器による高齢者の日常行動把握と要介護・健康状態
- ・ 食事の塩分濃度と地区別健康特性
- ・ 調剤薬局による地域の健康増進及び社会的効果
- ・ 歯科医院の分布とデンタルIQ及び口腔環境の地区特性
- ・ 高齢者の「食」を軸とした生活環境と健康状態の地区特性
- ・ 地区別での健康状態の見える化と保健行政での活用
- ・ 「食べる力」の定量評価の確立と地域保健行政での活用
- ・ 介護家族者の支援体制構築に向けた基礎調査
- ・ 健康・介護分野のKPI
- ・ KDB分析による地域健康施策への処方箋
- ・ 健康関連情報の防災分野への応用
- ・ 介護離職と地域の経済的損失
- ・ 保健・医療分野における地域内経済循環
- ・ 被用者保険データベースの分析と地区特性との相関検証
- ・ 国保制度の見直しと基盤自治体の国保財政
- ・ 健康・介護分野における地域政策デザイン
- ・ 地域包括ケアを出口とした各種庁内データの活用
- ・ 救急データベースの活用
- ・ 歯科医師会調査データの活用